

たばたあずみ



Tel・Fax 550-6674

山根とみえ



Tel・Fax 550-4224

戸沢ひろゆき



Tel・Fax 558-9721

6月定例市議会

戸沢ひろゆきの一般質問

6月7日から始まった6月定例市議会。初日の7日に行われた戸沢ひろゆき議員の一般質問の発言要旨の一部を報告します。

農振・農用地の耕作状況について



積極的提案を示して質問

秋留台地をはじめ耕作が行われていない農振農用地農地が目立ちます。戸沢議員は、農業をあきる野市の基幹産業としてしっかりと位置づけ、農業の未来構想を確立する事が求められていると発言し、市の姿勢を問いました。市は、草などが繁茂している「いわゆる遊休農地」について農業委員会から草刈や作付けの通知及び農業委員の戸別訪問による指導をしていると回答しました。

戸沢議員は、「手間暇かける産業」として、専業農業として生活できる環境づくりが求められるとし、パイプハウスによる積極的営農を評価するとともにシフォンケーキ、ゆず大根など付加価値をつけて販売することが大切だと発言。農業者と力をあわせ直売所の拡充、優良農地の保全と遊休農地の有効活用をすすめていこうと呼びかけました。市は今年度見直した農業振興計画に基づき計画的に推進したいと回答しました。戸沢議員は再質問で、相続税納税猶予制度をしっかりと守っていく必要があると話を結びました。



農振・農用地域に投棄されている廃棄物



肥培管理がされていない農地

土地開発公社の土地の買戻しについて

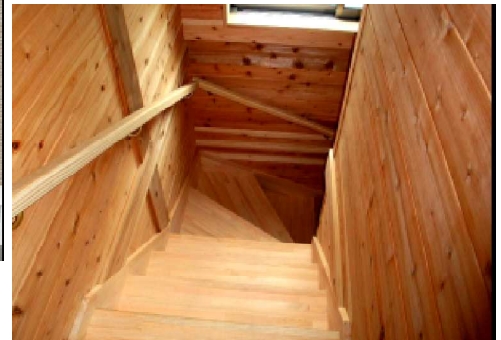
市は、土地開発公社の健全化を求める国の指導に基づき、平成18年から22年度までの第2次計画期間で都区市町村振興基金から45億3千万円を借り、88億5千万円あった簿価を43億2千万円まで減らしたと説明。戸沢議員は、これらの借金などは、今後25年間にわたって毎年2億円を越える市税で返済することになり、市民福祉の向上に大きな財政的影響を与えると、バブルに踊って企業誘致めざし借金して土地開発公社に丘陵を買いあさった失敗を批判しました。市長は、土地開発公社が中心市街地をつくる大きな役割を果たしたと言いつつ、戸沢議員は、会社や個人がバブルに踊って損したことは自己責任となる。税金を担保に大きな損失を出したことについて、政治家が結果責任を問われることは当然だと反論。市長は回答できませんでした。

郷土の恵みの森事業について

戸沢議員は、市域の60%の面積を占める森林を「郷土の恵みの森事業」として展開するためには、森林の材木が、地場産業として振興出来る環境をつくるのが大事だと提案。国の補助事業を利用した地域材活用の木造展示住宅の写真を見せ普及することが必要だと提案。林業で生活が成り立つよう「地産地消」の運動を展開するよう呼びかけました。



玄関先の案内板



1階から2階への階段(すべて杉材)

急募

被災地に送る喪服を集めています。サイズなどは問いませんが、クリーニング済みのものに限りです。ご協力いただける方はご連絡ください。

●東日本大震災救援募金活動にとり組んでいます。引き続きご協力ください。

法律相談

6月22日(水) 13時30分～15時

予約が必要です。市議団までご連絡ください。